



学校に行けない 世界の子どもたち



「学校に行けない」

— 本当にそんなことがあるの？

● はじめに ●

日本では、6歳か7歳になったらみんな小学校に通います。学校に行くことで皆さんは、生活するのに必要な知識や将来の夢をかなえるための基礎を学ぶことができます。つまり学校は、みなさんにとってとても大切なところだといえるでしょう。

ところが今、世界には皆さんと同じ年なのに学校に通えない子どもがたくさんいます。

この小冊子は、児童・生徒の皆さんが先生や保護者の方と一緒に、世界で起きているこの現状について理解を深めていただくために作成したものです。

この小冊子を読んで、同じ地球に暮らす世界のみんなが学校に行けるようになるにはどうしたらいいのか、皆さんもぜひ考えてみてください。

先生・保護者の方へ

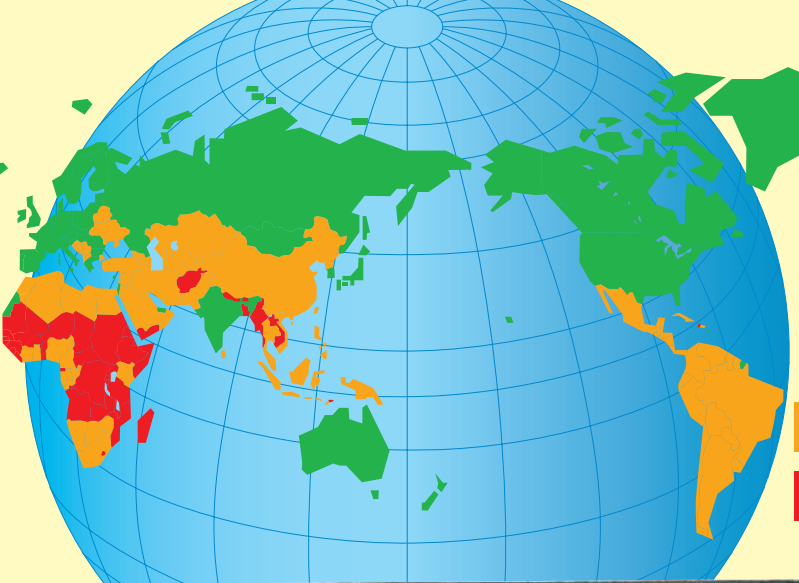
日本では、(就学年齢に達した)子どもはすべて小学校へ通うことが当然のことと考えられています。「義務教育」という言葉が示すように、保護者は子どもに普通教育を受けさせる義務があり、すべての子どもは教育を受ける権利を持っています。

ところが、一歩日本の外に目を向けてみると、日本で当然と考えられている「就学」が、当然ではない国が数多く存在することに気づきます。「学校に行きたくても行けない。」これが、貧しい国での実情です。

皆さんも、ぜひこの機会に、世界中で起きているこの実情に目を向け、お子さんと一緒に考えてみてください。

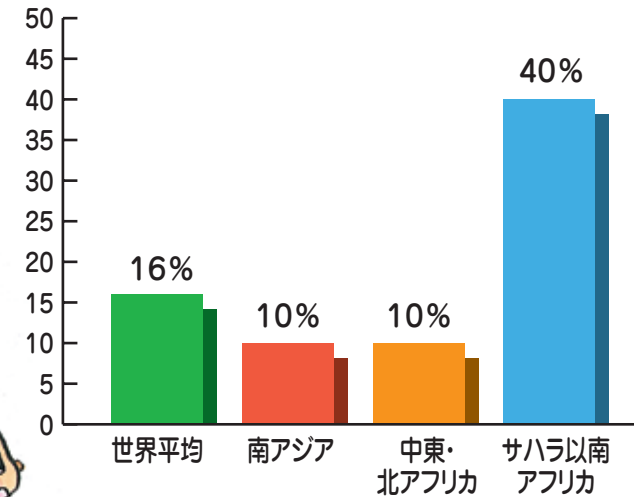


世界の8割以上の人が開発途上国とよばれる貧しい国でくらしているんじゃないよ



世界にはおよそ196の国があるんじゃないか？日本のように発展している国はほんのひとにぎりにすぎないんじゃないか？

※4 外務省HP (2025)
※5 総務省HP (2025)
開発途上国:産業や技術の発達が遅れていたりして困っている国
後発開発途上国:発展途上国の中でも特に困っている国
〈DAC2024〉より



※6 World Bank Group:GlobalTrends in Child Monetary Poverty According to International Poverty Lines (2023)

●サハラ以南アフリカ(アフリカのサハラ砂漠より南の地域)の多くの国々を含む後発開発途上国では、半数以上の人々が1日2.15ドル未満で暮らしています。

特に開発の遅れているサハラ以南のアフリカでは、1日に2.15ドル(約311円)未満で生活しなくてはならない人が40%もいるんじゃないか？



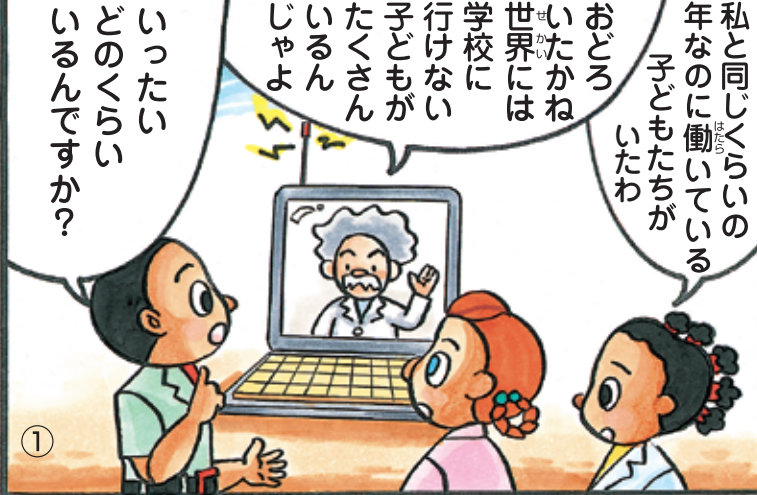
えーっ、それじゃあごはんもろくに食べられないよ！



だから学校に行きたくてもお金の余裕がなくて行けない子ども学校に通っていたけれど中退してしまった子どももたくさんいるんじゃないか？



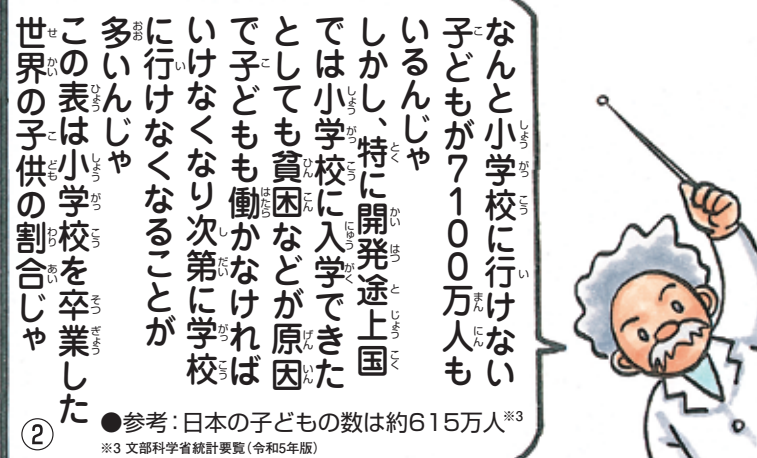
それに開発途上国では日本の学校のように国が学費や教科書を補助してくれないところも多いんじゃないか？



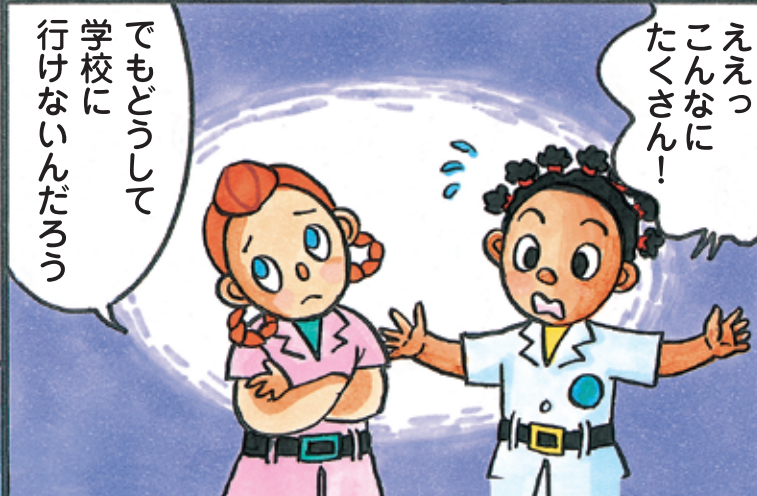
小学校を卒業した世界の子どもの割合 (%) ※2

	後発開発途上国	東アジア太平洋諸国	南アジア	ラテンアメリカカリブ海諸国	サハラ以南のアフリカ
男子	58	95	85	93	61
女子	58	96	84	95	62

※2 UNICEF「世界子供白書」(2024)



●参考:日本の子どもの数は約615万人 ※3
※3 文部科学省統計要覧(令和5年版)



「学校に行けない」 — どのくらいの子どもの学校に行けないの？

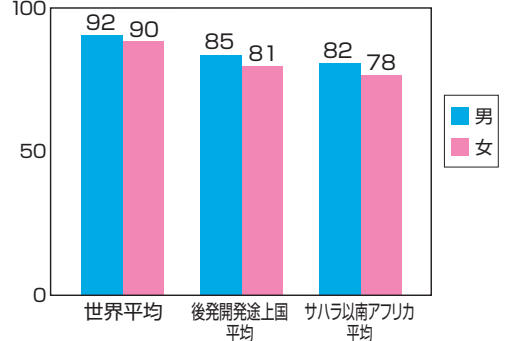
先生・保護者の方へ

現在、世界には、就学年齢に達しているにもかかわらず小学校に通っていない子どもが約7,100万人います^①。そして、その多くは開発途上国と呼ばれる貧しい国に集中しています。日本の子どもの初等教育就学率が男女とも100%であるのに対し、後発開発途上国平均では男子85%、女子81%と、日本と比較してかなり低くなっています^②。「サハラ以南のアフリカ」の就学率においても、男子82%、女子78%と、約5人に1人が就学していないという深刻な状況となっています^②。

またこういった国々では、小学校に入学できても、卒業まで通い続けることができずにやめてしまう子どもも多くなっています。後発開発途上国、サハラ以南のアフリカでは小学校に入学した子どものうち半分近くが、何らかの理由で最終学年に達するまでに学校をやめてしまっています^②。

① UNICEF「ユニセフの主な活動分野 教育」
② 世界子供白書(2023)

小学校に行くことができる子どもの割合 (%)



※1 世界子供白書(2023)



学校が近くにない

学校が遠すぎて通えないところがある。また、学校はあっても勉強机や教室が足りないところもある。



先生がいらない

先生を育てる仕組みが整っていないところや、国が貧しくて先生に給料が払えないところもある。



戦争に巻き込まれた

戦争で学校がこわされることや、安心して通えないこと、住んでいる町から逃れねばならないこともある。また、中には少年兵としてかり出されている子どももある。



両親を失い めんどろを見てくれる 大人がいらない

病気や何らかの理由で両親を失い、路上で生活しなければならない子どももある。



両親が行かせて くれない

子どもを学校に行かせるくらいなら働かせたほうがましだと考えている親もいる。また、女の子には教育は必要ないという考え方から、学校に行かせてもらえないこともある。



学校に行けることってとてもめづまれていることなのね



その他にも
さまざまな理由から
学校に行けない
子どもがたくさん
いるんじゃないよ

「学校に行けない」

—どうして学校に行けないの？

先生・保護者の方へ

子どもが学校に行けない理由は国や地域によってもさまざまですが、根本的な原因として、貧困、脆弱な国家、武力紛争などが挙げられます。

子どもの通学を妨げる具体的な要因としては、学費を払う余裕がない、家計を助けるために働かなければならない、弟妹の世話をしなくてはならない、学校が近くにない、教師がいらない、親や地域の住民が教育を軽視する、紛争に巻き込まれた（時には少年兵として）、病気などで両親を失ったなどが挙げられます。

子どもが教育を受ける機会を失う1つの例に児童労働が挙げられます。その数は、世界で1億6,000万人にもなります。2020年はじめには、世界で6,300万人の少女と9,700万人の少年が児童労働をしており、これは世界の全子どものほぼ10人に1人を占めています。

③ 労働機関 (ILO) [Child Labour: Global estimates 2020, trends and the road forward.] (2021)



弟や妹の世話をしなくてはならない

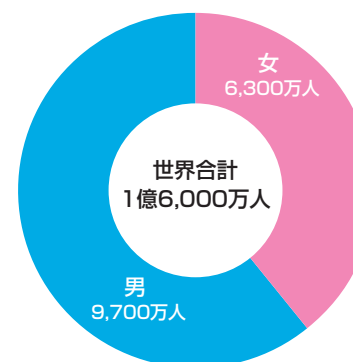
5人、10人と兄弟がいて両親のかわりにめんどろをみなくてはならず、学校に行く時間がない。



家計を助けなくてはならない

農業などの家の仕事を手伝ったり、外に働きにでなければならない。

児童労働の割合 (%) (2021年)



※7 労働機関 (ILO) [Child Labour: Global estimates 2020, trends and the road forward.] (2021)

「学校に行けない」

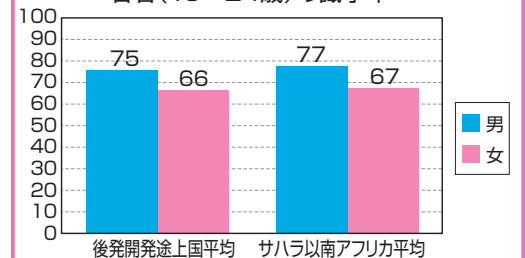
—学校に行けないとどうなるの？
—日本はどんな協力をしているの？

先生・保護者の方へ

小学校等で教育を受ける機会を失った子どもは、読み書き・計算といった基礎的な能力を習得できない可能性があります。そうなると、生活していくうえで最低限必要な知識や技能を得られなかったり、また、将来安定した所得を得る機会をも失い、いつまでも貧困から脱却できない危険性があります。

後発開発途上国平均の若者の識字率は、男子75%・女子66%、中でも「サハラ以南のアフリカ」では、男子77%・女子67%と深刻な状況となっています。^④

若者（15～24歳）の識字率

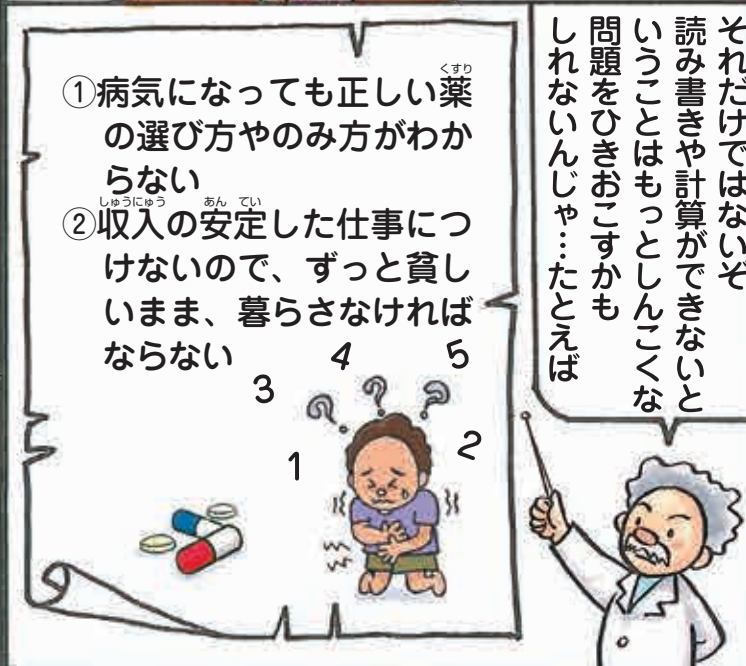


こうした状況を改善するために、国際社会は開発途上国の基礎教育普及に向けたさまざまな取り組みを行っています。日本が行っている取り組みとしては、例えば、すべての人が教育を受けられるように学校を建設したり、すべての人が良い教育を受けられるように教員を養成したり、また、すべての人が将来も良い教育を受けられるように政府の方針や計画を策定したりする場面で協力をしています。

世界のすべての子どもが男女の区別なく質の高い教育を受けられるようになることは、国際社会の共通目標です。そして、そのためにできることは皆さんの身近なところにもきっとあるはずです。世界のみんなが幸せになるためにできること、皆さんもぜひこの機会に考えてみてください。

④ 世界子供白書(2023)

学校に行けないとどうなるの？
しまうんだらう？



教育をうけることはすべての人間がもっている当然の権利なんじゃないかな。だから世界のみんなが学校に行けるように国どうしが協力していろいろな取り組みをしているんじゃないかな

たとえば日本はこんな協力をしているんじゃないかな

先生を育てる



教科書や教材を作る



学校へいくことの大切さを両親や地域の人に理解してもらう



学校をたてる



国の教育のしくみをととのえる



早く世界のみんなが学校に行けるようになるといいね

そういう気持ちを忘れずにみんなもしっかり勉強するんじゃないかな

学校で活用できる JICA国際理解教育/開発教育支援 プログラム

地球ひろば訪問

JICA地球ひろばの目玉展示「地球ナビ」では、SDGsの各ゴールについて学べる。



▲▲▲
地球ひろばの
最新情報

「市民参加による国際協力の拠点」としてオープンしたJICA

地球ひろば。東京をはじめ全国8か所で、映像やクイズによる展示に加え、民族衣装の試着や世界の料理を味わえるレストランなど、“見て・聞いて・さわって”、途上国の暮らしや地球が抱える課題、国際協力の現状を学べる場所となっている。JICA横浜に併設する海外移住資料館では、日本人の海外移住の歴史と日系人の現在を学ぶことができる。

国際協力出前講座



▲▲▲
国際協力出前講座の
最新情報

海外協力隊の経験者や職員、国際協力専門員など国際協力に携わったJICA関係者や途上国からの研修員が講師となり、自らの体験をベースに国際理解につながる内容を伝える。講師が直接訪問する「対面型」と、途上国で活動中の隊員などと交流する「オンライン型」の2種類から選択可能。体験談、異文化理解、国際協力キャリア、SDGsなど希望のテーマに沿って講師と講座内容を組み立てる。



講師がアフリカ地域の民族衣装を着て、現地の生活・文化を子どもたちに紹介。

16 JICA 沖縄 (おきなわ地球ひろば) ★



教員向け研修



▲▲▲
教員向け研修の
最新情報

1965年から続く教師海外研修。約10日間の海外研修と渡航前後の国内研修で構成。



開発教育に興味・関心のある教員を対象に、途上国を訪問す

る「教師海外研修」、それぞれの国内拠点でテーマ別に行われる「国内研修」、指導案の作成・授業実践のレベルアップに取り組む「指導者研修」など、対象者や目的が異なるさまざまな研修を実施している。参加者同士の意見交換や協働作業を通してネットワークを築くことで、研修後も各地域の学校教育関係者と連携してさらなる開発教育の推進を図る。

14 JICA 中国 (ひろしま地球ひろば) ★



13 JICA 四国



12 JICA 関西 (かんさい地球ひろば) ★



15 JICA 九州 (きゅうしゅう地球ひろば) ★



10 JICA 北陸



9 JICA 駒ヶ根



11 JICA 中部 (なごや地球ひろば) ★



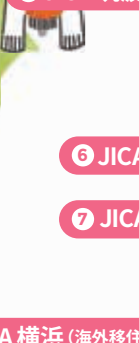
4 JICA 二本松



3 JICA 東北



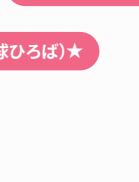
5 JICA 筑波 (つくば地球ひろば) ★



6 JICA 東京

7 JICA 地球ひろば ★

8 JICA 横浜 (海外移住資料館) ★



1 JICA 北海道 (札幌/ほっかいどう地球ひろば) ★



2 JICA 北海道 (帯広/おびるっく) ★



JICAの国内拠点 (★:体験型施設)



もっと知りたい
JICA国内拠点

国内拠点の最新情報を
JICAのサイトでチェック

開発教育支援教材



▲▲▲
開発教育支援教材の
最新情報

冊子教材はダウンロードだけでなく、無料での貸し出しや提供にも対応。



子どもたちが世界の現状や課題について理解を深めるための教材を作成し、無料で提供している。主体的・対話的で深い学びにつながるよう、授業でそのまま活用できるワークや、映像、マンガで学ぶもの、さらにはゲームを取り入れたものまで各種揃える。多文化共生の教材や、教員向けに授業のヒントとなるようなガイド冊子や指導案事例も。すべて地球ひろばのホームページからダウンロードが可能となっている。

国際協力エッセイコンテスト



▲▲▲
エッセイコンテストの
最新情報

2023年の表彰式で、審査員との座談会や受賞者同士のワークショップも行った。



途上国の現状や日本との関係について理解を深め、グローバル社会の中で自分たち一人ひとりがどのように行動すべきかを考えてもらうことを目的として、中学生と高校生を対象に毎年開催。上位入賞者には約1週間の海外研修やフェアトレード商品を贈呈。海外研修では訪問国の文化体験や同年代の生徒との交流、現場が抱える課題とそれらに対するJICAの取り組みを視察することで、国際理解をさらに深める。



JICA地球ひろば
(独立行政法人国際協力機構)

〒162-8433 東京都新宿区市ヶ谷本村町10-5 TEL : 03-3269-2911 URL : <https://www.jica.go.jp/hiroba/>

第一版：2007年12月
第二版：2019年3月
第三版：2025年8月



2025.8